

要 望 書

平成25年2月22日

南砺市電設協会



2/22 AM10:00

松田 穂花、北川隆男氏、芝島一昭氏、森田松司氏より4名来庁

南砺市長 田中幹夫 様

電気設備工事の分離発注のお願い

私ども南砺市電設協会は、電気設備工事に関する高度の専門技術集団として、そのノウハウを駆使し、施主の皆様方に品質・価格等の面で最もご満足頂けるよう、日頃より自信と誇りをもって事業に励んでおります。

ところで、かつて電気設備は建物の付帯設備と位置付けられ、その発注は建物の躯体に含まれて発注される「一括発注」が多くみられました。

しかしながら、今日、施設の利便性、快適性、安全・防災性などのニーズの高まりに伴い、電気設備は益々高度化・複雑化し、今や建築物が機能を発揮するための最重要システムになっております。加えて、最近では地球環境配慮、ライフサイクルコストの縮減、IT技術の活用のための基盤整備が強く求められており、電気設備業界が責任を果たさなければならない場面が多くなっております。

また、施工技術の面におきましても著しく専門化が進み、躯体から独立した施工管理、コスト管理、品質保証など施工責任の明確化が強く求められております。

このような視点から、躯体とは別発注の「分離発注」こそが最も合理的な発注システムであり、施主の皆様方のニーズにもかなうものと考え、業界を挙げて「分離発注」の運動を展開してまいりました。

その結果、お陰様をもちまして官公庁工事につきましては、永年に亘り「分離発注」を原則として実施賜り、業界育成強化と健全経営の基盤となっております事に敬意を表す所です。

今後、南砺市発注工事（耐震補強対策工事を含め）につきましても、格別の御配慮承ります様、切にお願い申し上げます。

平成25年2月22日

南砺市電設協会
会長 松田 稔

